

中間評価（ステージゲート審査）結果

1. 研究課題名： やわらかな病原性エンベロープウイルスの構造解明
2. 研究代表者： 杉田 征彦（京都大学 医生物学研究所 准教授）
3. 中間評価（ステージゲート審査）コメント

本課題は、堅牢なウイルス殻を持たず容易に変形するために既存の方法での解析が困難であったエンベロープウイルスに対する構造解析技術を確立し、その構造解明に挑むものである。フェーズ1では、ボルナウイルスの N-RNA 複合体構造解析において多様な複合体構造を見だし、これらが N-RNA 複合体の形成過程を示しているとする仮説を設定した。またエボラウイルス様粒子に内包されるヌクレオカプシド様構造の解析にも成功した。ウイルスの構造形成プロセスを理解するための基盤が順調に進行したと評価する。フェーズ2はこれまでの単粒子解析を発展させるとともに感染細胞におけるウイルス増殖機構をクライオ FIB-SEM を用いて明らかにする野心的な計画である。やわらかな超分子であるウイルスの分子基盤と生理的意義の理解が進むように研究が展開されることを期待する。

以上